



発行元 しんしろ助産所
H23年6月27日

「しんしろ助産所ってどんなところ？」 の疑問にお答えしています

「新城市民ではないのですが利用できますか?」「初めてだとなかなか入りにくくて...」しんしろ助産所について、このような声を聞くことがよくあります。

しんしろ助産所は平成23年に新城市が開設した公設の助産所です。開所から7年が経ちますがまだまだ利用方法やサービスの内容など、知られていないのが現状です。また利用者の多くは口コミで来所されています。

「もっと多くの方にこの施設を知ってもらい、利用していただきたい」と考え、現在広報「ほのか」に記事を連載中です。実際に「『ほのか』を見て来ました。」と言ってくださる方も増え、掲載の効果を実感しています。今後連載が続きま

No.1

こんにちはしんしろ助産所です

平成23年6月に市の公設助産所として誕生した「しんしろ助産所」は、今年で8年目を迎えました。「しんしろ助産所ってどんなところ?」など、まだまだ知らない方々に、これまでを振り返りながらしんしろ助産所を紹介したいと思います。
しんしろ助産所 ☎ 32-1050

今までに助産所で生まれた赤ちゃんは96人

今年の6月までに96人の赤ちゃんが誕生しました。その内訳は
経産婦: 89人(92.7%)
初産婦: 7人(7.3%)

開設当初、分娩対象は経産婦のみでしたが、平成26年5月からは初産婦の受け入れも開始しました。また、約2割の方がリピーターです(前回はしんしろ助産所を利用した妊婦)。

市民はもちろん、市外の方も利用できます

これまでの分娩利用者の内訳は、市民68.7%、東栄町・設楽町民15.6%、里帰り出産15.7%です。出産だけでなく、赤ちゃんの体重測定や母乳相談、産後ケアなども出産施設や居住地を問わずどこでもご利用いただけます。

情報を随時更新中です!
平成24年1月から始めたブログは、6月現在で1,570件となりました。母乳通信は29号、助産所新聞は19号まで発行しており、それぞれインターネットからもご覧いただけます。「しんしろ助産所だより」「母乳通信」「しんしろ助産所新聞」で検索してください。
また、毎月1日・15日に配信される、市の「こども園メール」でも、しんしろ助産所のイベントや情報をお知らせしています。

記念すべき第1号には最初のリピーターさんにご登場いただきました!

ほかにもさまざまな場面・場所で活動しています

いのちの授業・職業の話など(小学校、中学校、高校)

ベビーマッサージ、マタニティ・産後ヨガ、講話など(助産所、こども園、子育てサポートセンターなど)

これらのほかにも、助産学科臨地実習・講義、中学生職場体験、高校生インターンシップの受け入れや、「子どもの救急」「みんな子育て子育て」など各種教室も行っています。

No.4

こんにちはしんしろ助産所です

しんしろ助産所 ☎ 32-1050

産後ケアのご案内

- サポートしてくれる人がいない
- 赤ちゃんとの生活に不安がある
- 母乳育児に対しての不安がある
- 上の子の世話と両立できるか心配...

出産施設を退院してからの生活に不安はありませんか。しんしろ助産所ではライフスタイルに合わせて、日帰りや宿泊での産後ケアを行っています。他施設で出産された方、市外の方などでもご利用できます。

- 母乳育児支援
- 育児技術の習得
- 各種相談
- 静養
- 家族利用 など

お母さんの希望や状況に合わせて助産師が母子のケアを行います。

旬の食材を使った食事やおやつをお楽しみください。

※利用の際は予約が必要です。利用プラン、持ち物、料金などの確認とともに、事前にご連絡ください。

しんしろ助産所は産後のフォローも大切に考えています。お産の入院期間は短いため、身体の回復や手技の習得、乳汁の分泌を待たずに退院されることが多くなりました。そのため退院後に困ったり不安になったりの方が大勢みえます。赤ちゃんの体重増加や哺乳量を測定し、成長や母乳の分泌を実感できること、困ったときにサポートを受けることはママにとっても赤ちゃんにとっても大切なことです。

No.5

こんにちはしんしろ助産所です

しんしろ助産所 ☎ 32-1050

「身体測定・哺乳量測定」随時受け付けています!!

- 母乳がどのくらい出ているのかわからず不安
授乳時間に合わせて来所していただき、授乳前後で体重を測ることで哺乳量がわかります。
- ミルクをどのくらい足したらいいかわからない
体重や哺乳量から1日の必要哺乳量、適切なミルクの補足量などを提案します。
- 体重が増えているか心配
体重の増え具合や哺乳量を確認し、必要に応じて対応策をアドバイスさせていただきます。
- 成長の記録に...
成長の記録として毎月計測に来所される方も多くみえます。健診以外になかなか測る機会のない身長も計測できます。

毎月約30~40の方が身体測定・哺乳量測定を利用されています!

※居住地、出産施設を問わずどこでも利用できます。※来られる前にご連絡をいただければ、お待たせしないよう時間を調整します。

No.2

こんにちはしんしろ助産所です

しんしろ助産所 ☎ 32-1050

しんしろ助産所での出産は、聖隷三方原病院 院内助産所のオープンシステムを利用しています。

オープンシステムってなに...?

- 出産は病院の院内助産所で!**
経過が順調でも何が起こるかわからないのが出産です。いざという時にもすぐに対応ができる聖隷三方原病院の院内助産所でお産します。
- 健診は助産所と病院の共同診療で!**
健診は助産所と聖隷三方原病院が連携し、共同で診療に当たります。妊娠週数に応じて助産所での健診、病院での健診があります。病院健診には毎回助産師が同行します。
- 顔見知りの助産師がお世話します!**
妊娠中から産後まで、助産師が継続してお世話をします。
- アットホームな助産所で病院出産と変わらぬ安心・安全なお産を!**
- 出産の際には助産師が同乗します!**
助産所から聖隷三方原病院までは車で約30~40分。道中の安心・安全のため、出産の際には助産師が同乗します。
- 病院と連携しているから安心!**
助産所で医師の診察が必要と判断した場合は、聖隷三方原病院で対応してくれるので安心です。

しんしろ助産所のお産は、連携病院である「聖隷三方原病院」の院内助産所「たんぼぼ」を利用しています。健診はもちろん、分娩時の聖隷への移動も助産師が付き添い、家庭的な雰囲気の中、家族やいつもの助産師とともに赤ちゃんを迎えます。いざという時も適切な医療を受けられるのも安心です。

No.3

こんにちはしんしろ助産所です

しんしろ助産所を利用したお産の実例 ☎ 32-1050

出産の兆候があったら

助産所での診察後、聖隷三方原病院院内助産所に移動します。

院内助産所での過ごし方

- お産の部屋は家庭的で落ち着いた雰囲気。
- アロマや足浴、音楽でリラックス。
- 入院から出産、回復まで移動することなく同じ部屋で過ごします。
- 家族や助産師が寄り添い、楽な姿勢で過ごせます。

出産後

- 赤ちゃんと一緒に家族で過ごせます。
- 早期の母子接触で母乳への移行もスムーズです。
- 家族みんなで、生命誕生の瞬間の喜びを分かち合えます。

赤ちゃん誕生

- 助産師主導のお産ですが、緊急時には聖隷三方原病院の医師(産科・小児科)が迅速に対応します。
- 分娩台はなく、布団の上でフリースタイル出産。
- 立ち会いはどなたでも可能です。

※助産所での出産を利用できるのは、母子ともに順調な経過のローリスクの方です。詳細はお問い合わせください。